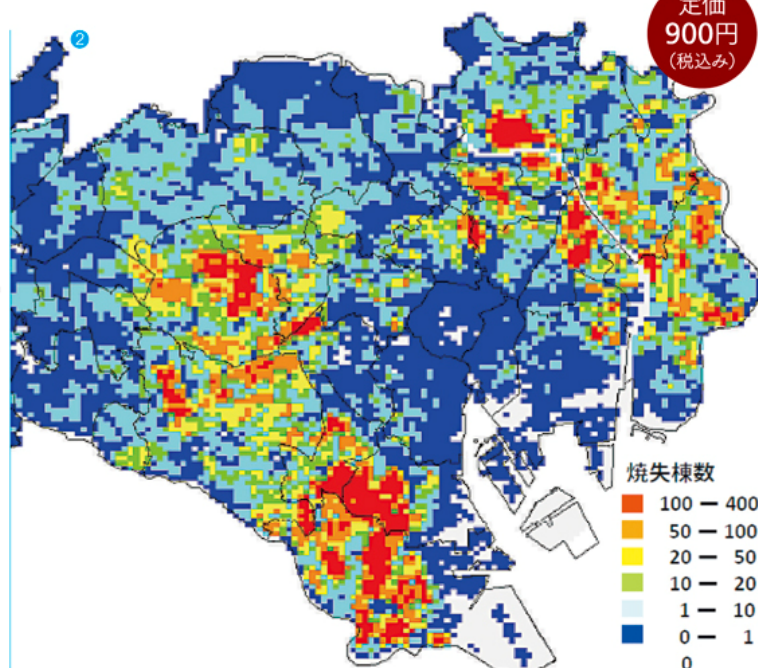
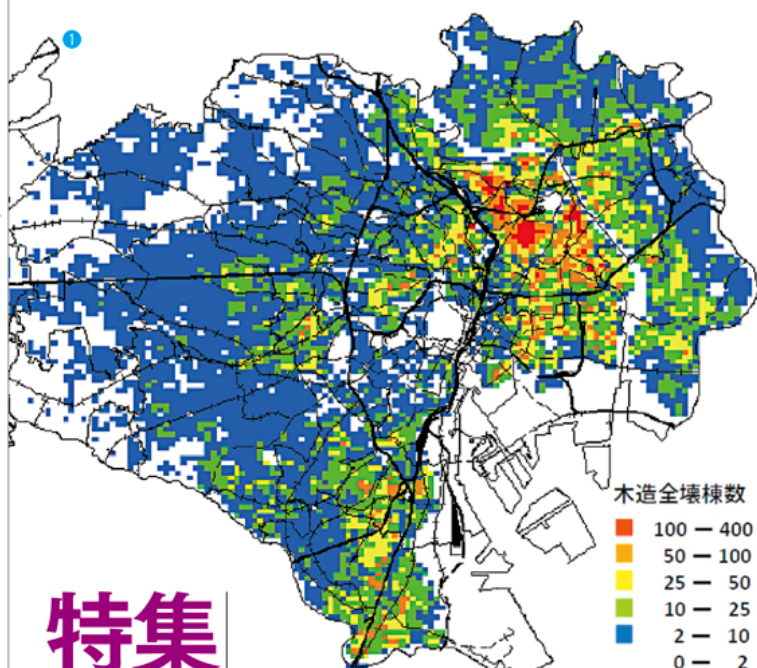




特集

防災対策の実行急げ!

●中林一樹 | 首都直下地震に備えた木造密集市街地の事前復興まちづくりを急げ ●柳瀬寛夫 | 東日本大震災に学ぶ。図書館における非構造部材および家具の対策 ●村上正浩 | 被災者から支援者へ。実践的な防災・減災教育の普及急げ ●福和伸夫 | 震災史に学べ! 建築家の防災意識はまだ足りない

① 建物倒壊の想定分布図、

② 建物焼失の想定分布図 (東京湾北部地震: 東京都 2012)

現在の都市計画の仕組みは、建物の敷地(境界、面積と方位)が確定されて初めて都市計画規制と建築規制が対応できる。建ぺい率、容積率、斜線制限、壁面後退などは敷地が確定できなければ対応できず、再建のための建築確認行為もできない。土地区画未確定の木造密集市街地においては、早急な土地区画整理事業に取り組む必要がある(中林一樹 | 明治大学大学院特任教授・東京都防災会議地震部会専門委員)。首都直下地震のような巨大地震に立ち向かうには、被災地内にいる方々をすべて「被災者」とするのではなく、怪我がない元気な方々が「支援者」となり、安心して活動できる環境づくりと仕組みづくりが、今後の防災・減災対策では必要です(村上正浩 | 工学院大学建築学部准教授)。

ジャーナルギャラリー |

沖縄のモダニズム建築群を守れ!

— 砂川敏彦、照屋寛公、兼松紘一郎



地域の話

ふくしま建築集団が提案する放射能対策住宅「ふくは家」

各地域に拠点を置く設計事務所の作品集

建築集

